

平成26年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
1.幅広い生徒の学習希望に応えるため、専門スキルを身に付けられる学習機会を提供し、工科高校として特色ある学校づくりをめざす。	<p>①生徒が各種検定や資格取得に積極的に取組めるようにさらに工夫を重ねる。</p> <p>②体験的・発展的な学習活動に工夫を凝らし、高大連携を推進する。</p> <p>③年間学習指導計画の内容を見直し、学習目標・到達目標を生徒にとってわかり易いものとする。</p>	<p>①検定や資格の取得者を増やし、生徒の学習意欲を高めたか。</p> <p>②大学と連携した学習機会を提供することができたか。</p> <p>③年間学習指導計画によって、授業の到達目標や評価の方法が示され、生徒の学習意欲が高められたか。</p>	<p>○1年、計算技術検定4級で80.4%、3級で64%の生徒が合格し、昨年度(49%)をかなり上回ることができた。情報技術検定3級は合格率23%で昨年同様であった。</p> <p>○3年、2級土木施工管理技術検定 学科(土木)に7名の合格者が出た。</p> <p>○ジュニアマイスター顕彰は前期申請でゴールド1人・シルバー1人、後期申請でゴールド1人・シルバー3人、さらに追加申請でゴールド2人を申請した。今までに経験のない申請数であり、上位資格の取得数も多かった。</p> <p>○今年度は湘南工科大の見学に生産技術系も加わり、117名が参加した。</p> <p>○年間を通じて年間指導計画を活用することで、科目の特性を把握でき進路選択への関心が高まった。次年度履修計画(科目選択)を11月に確定することができた。</p>	<p>○計算技術検定3級の合格率がアップしたことは、事前の指導が計画的で担当教員の協力体制が効果的であったからと思われる。今後も生徒の意欲喚起を促す手立てを考えていく必要がある。</p> <p>○他の検定試験・学校行事とのバランス・1年次からの継続性・事前指導対応などと考え合わせ、生徒が積極的に検定を受けられるように指導していきたい。</p> <p>○ジュニアマイスター顕彰を受けた生徒は増加した。</p> <p>○課題研究や授業を通じた大学との連携は取り組みがなかった。普段の交流がないのでニーズの発掘はかなり難しいと感じている。</p> <p>○科目選択の結果が進路選択にいかされているかどうか等の検証が必要である。</p>	<p>(保護者) ○資格取得の指導を引き続きすすめてほしい。</p> <p>(学校評議員) ○資格取得ができてきているという点が良い。</p> <p>○ユニバーサルデザイン的な視点から見ても、生徒に先行きのことを考えさせていく、具体的な目標を持たせていくことは大切だと思う。</p>	<p>(学校評価) ○学習意欲を高め、基礎学力の向上をめざし取り組んだ。</p> <p>○検定等を積極的に受けさせ、昨年度を上回る結果となった。</p> <p>○ジュニアマイスター顕彰の結果が向上した。</p> <p>○学習意欲を高めるため、多くの補習を実施した。</p> <p>○評価「1」の生徒が減少した。</p> <p>(改善方策等) ○2学年では、資格取得向上をめざしたが生徒の意欲向上につながらなかったため、担当教員の協力体制を強め、さらに創意工夫が必要である。</p> <p>○来年度より、外部テストを実施し、学習意欲を喚起したい。</p> <p>○高校改革に沿って、教育課程の見直しを進めたい。</p>

<p>2 規範意識を身に付けさせ、社会から期待される主体的な行動力を持った生徒の育成をめざす。</p>	<p>①生徒と教職員のコミュニケーションを密にするとともに、個々の生徒の状況に応じた指導を行う。</p> <p>②本校生徒としての心構えを持ち、自信と責任ある行動選択ができる生徒の育成を目指す。</p> <p>③スクールカウンセラーと連携して教育相談体制を充実させるとともに、教育相談会議や研修会を有効に機能させ、全職員が共通理解を持って教育相談にあたる。</p>	<p>①遅刻、頭髪・服装のルール違反、特別指導の件数を減らすことができたか。</p> <p>校内の環境整備や状況に応じた利用マナーが昨年より向上したか。</p> <p>②生徒が規範意識を身につけ、責任ある行動選択ができたか。</p> <p>③スクールカウンセラーや専門機関等と連携して、適切な対応ができたか。ケース会議を実施し、個別の支援ができたか。</p>	<p>○生活態度全般について、学年の職員でHR指導を中心に行なってきた。遅刻については、担当教諭から回数に応じた指導を行なうことができた。</p> <p>○特別指導の件数は昨年より6件増えてしまったが、謹慎指導となった生徒は3名減少した。遅刻指導に関しては、朝の奉仕活動の成果で遅刻数が改善された生徒が増えた。頭髪服装については多くの生徒が校則を守って生活している。</p> <p>○年3回の通学路清掃を計画し、地域清掃、ごみの分別活動等を1学年対象に行った。</p> <p>○通常清掃では、ごみの分別の徹底指導を行った。外部からのごみの散らかしのクレームもなく、社会のルールを理解させることができた。</p> <p>○学校行事への意欲が増し参加率は、球技大会、藤工祭と伸びている。</p> <p>○研修会を実施して職員の理解を深め、校内会議や生徒・保護者への指導に対応している。</p> <p>○生徒・保護者・職員が、それぞれにスクールカウンセリングを利用できている。</p> <p>○2学期(11月)にも教育相談会議を行い、該当生徒に関する情報を共有することができた。</p> <p>○該当生徒の状況に応じてケース会議を行い、具体的な支援方法を検討することができた。</p>	<p>○保護者の協力・理解を得た上で、生徒個々に意識向上を促す指導が必要である。</p> <p>○今までの指導等においては一定の成果が見られるが、精神的に幼い生徒が増え、謹慎までには行かないが、集団生活のルールに外れる生徒が多くなっている。日頃の生徒への対応・指導を工夫していく必要がある。</p> <p>○地域清掃場所を見直すなどより充実させ、地域に貢献することが今後の課題である。</p> <p>○保護者と連携した環境整備に力を注ぎたい。</p> <p>○発達障害等の理解は、専門的事項や個々の状況への対応など、広範なものとなるので、研修会等の機会を活用していく。該当生徒数も多く、個々の状況を把握しにくい。</p> <p>○家庭(保護者)の理解と協力が不可欠である。</p> <p>○個々の生徒の状況に則した支援を検討し、ケース会議を通じて、職員の支援態勢を充実させていく。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○校内の環境整備について、PTA活動を通して協力していきたい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○遅刻欠席の半減を目標にすべきだと思う。そのための仕組み(本当はWEB上で即座に見えるようにするのが最善)として、遅刻数が多い生徒にはメールで現在何回ですと通知するだけでも効果があると思う。</p> <p>○生徒指導については、効果のあった指導については、教職員の異動もあるので、グループ内の継承がなされるとよいと思う。</p> <p>○生活指導については、指導をする教員が減ったように思う。OBからも助言したい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○遅刻、頭髪、服装、生活のルールの指導を継続的に実施した。</p> <p>○特別指導が昨年より、3名減少した。</p> <p>○家庭との連携を密にし、細かな指導を心掛けた。</p> <p>○スクールカウンセラーが月に一度来校し、利用率も高まった。</p> <p>○職員側で研修会、ケース会議、教育相談会議を実施した。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○生徒の交通事故防止に向けての指導についても、引き続き実施していきたい。</p>
---	--	---	---	--	---	--

<p>3 習得段階を意識した双方向の授業を行い、思考力、判断力、表現力の向上に取り組み、確かな学力の定着をめざす。</p>	<p>①積極的に授業改善に取り組み、学力向上を図るため、生徒による授業評価、互見授業や研究授業など校内研修を実施する。</p> <p>②基礎・基本の学習内容を定着させるため、年間を通して補習・講習、追試指導などを実施する。</p> <p>③課題研究の内容や取り組み状況を充実させるため、高大連携を推進する。</p>	<p>①「わかる、憶える、できる、教える」といった習得段階を意識した教育実践ができたか。思考力・判断力・表現力の向上や問題解決能力が強化できたか。</p> <p>②生徒の実情やニーズを踏まえた学習支援を展開することができたか。より多くの生徒に学習習慣を身につけさせることができたか。成績不振者を減らすことができたか。</p> <p>③課題解決に向け意欲的に取り組む姿勢を養うことができたか。</p>	<p>○授業アンケートを2回実施（7月・12月）した。1回目、2回目ともに集計は完了している。研究授業や次年度に向けて有効に活用できた。</p> <p>○外部人材を活用した、全職員参加による授業研究会を2回（6月5日、9月25日）実施し、授業改善を図った。</p> <p>○研究授業実施回数（延べ回数・講座数・テーマ数）は組織的な授業改善の取組の結果、昨年度より増えた。</p> <p>○3年生の生徒・保護者へのアンケートは1月に1・2年生には3月に実施した。</p> <p>○年間を通じて多くの補習・補講が行われた。また、資格検定に向け全職員で放課後補習にあたるだけでなく各系においてもきめ細かな補習が行われた。</p> <p>○クラス担任と教科担当の間で連絡を取り、生徒の出席状況・学習状況を把握した。HRへの掲示物によって、定期試験等の行事予定を生徒に意識させた。</p> <p>○13テーマのレビューをしたが、例年お願いしている外部講師の方の参加がかなわず、校内で行った。</p> <p>○課題研究では高大連携による取組ができなかった。</p>	<p>○授業改善の方向性について、何をどのように改善するかを検討する必要がある。</p> <p>○実施後アンケートの評価は概ね良好であったが、目標達成に対する評価は方法を含め、検討が必要である。</p> <p>○保護者向けアンケートの内容は精選する。回収方法については、ペーパーによる回収とアンケートフォームによる回収の併用を検討する。</p> <p>○追認指導実施の目安は定着し、成績不振者に対する学習指導が確実に行われるようになった。補習指導が計画的に行われることで、成績不振者は減少してきた。</p> <p>○家庭との連絡を密にして、保護者の協力・理解を得た上で、生徒個々に意識向上を促す指導が必要である。</p> <p>○外部講師を招聘できなかったことにより生徒の取組に緊張感がなかった。</p> <p>○課題研究での高大連携による取組みは、今回ニーズの発掘ができなかった。</p> <p>○生徒が計画段階から自ら考え行動しているとはいえ、班によっては課題研究という科目の目標を無視した内容や、安易な目標の再設定が目立った。</p>	<p>（保護者）</p> <p>○課題研究の取組みを充実させるため、高大連携は、継続した方がよいと思う。</p> <p>（学校評議員）</p> <p>○アンケート結果を見て、中学と重なる部分もあり、今後、キャッチボールをしていきたい。</p> <p>○レーダーチャートでは差がわかりにくい。少なくとも、個々の授業ごとに項目別点数と総合点を明確にし、各先生にフィードバックすべきだと思う。</p> <p>○何を計画（P）し、どのように実行（D）し、その結果を評価（C）し、次の改善（A）をどうするかを明確に表にしたほうが良いと思う。</p> <p>○最小限、教員へのフィードバックはすべきだと思う。</p> <p>○本学は外部講師を招いた研修を行い顕著な効果をあげているが、費用が大きいため高校では不可能だと思う。しかし、最近始めたグループ研修は非常に評判がよく効果的であるため、取り入れてはどうかと思う。</p> <p>○授業研究会を2回実施し、授業改善の成果が見られたなら、それを具体化されたらいいのではないと思う。</p>	<p>（学校評価）</p> <p>○組織的な授業改善のための校内研修を実施した。</p> <p>○生徒による授業評価集計結果では、生徒の自主性の低下が懸念される。</p> <p>○学校アンケートでは、ものづくりの評価が上がった。</p> <p>（改善方策等）</p> <p>○入学者選抜では、定員割れとなったため、中学校へのPRがより必要である。</p>
---	---	---	--	--	---	---

<p>4 特別活動やキャリア教育・職業教育の充実を図り、生徒の社会生活実践力を育成し、進路希望の実現をめざす。</p>	<p>①生徒が自分自身で進路選択ができるよう、総合ガイダンスや進路説明会等を通して支援する。</p> <p>②インターンシップや職場体験への参加を推進するとともに、発表会を充実させる。</p> <p>③学校行事に対する生徒の主体的な取組みを支援するとともに、部活動紹介や発表の機会を増やす等の工夫を凝らし、部活動の活性化を図る。</p>	<p>①「総合ガイダンスが有益である」「進路希望に応じた進路指導が行われている」という生徒が昨年より増えたか 生徒一人ひとりに応じた進路支援・指導ができたか。</p> <p>②インターンシップへの参加生徒を増やすことができたか。 生徒のプレゼンテーション能力の向上に意欲的に取組んだか。</p> <p>③「学校行事に積極的に参加している」という生徒を増やすことができたか。 部活動の加入率が50%を超えたか。</p>	<p>○生徒の希望を調整し、2学期に系選択を決定することができた。3学期には、各系に分かれての「ガイダンス」や「職業理解ガイダンス」を通して自分が進む系や進路への理解を深めた。</p> <p>○2・3学期のLHRを中心に、進路ガイダンスや地元企業の説明会を行ったり、SPI2模試を行ったりして、生徒が自らの進路について考えられるようサポートした。</p> <p>○2/3に2年生対象の地元企業の高校内企業説明会（9社）を実施した。</p> <p>○インターンシップの取り組みは変わっていないが、参加者は昨年度よりも減少した。</p> <p>○藤工祭の有志団体が増加した。</p>	<p>○系選択において希望が定員を上回り、評定平均が同率のため抽選とした。決定方法について検討の余地がある。</p> <p>○インターンシップ体験も含め、生徒の進路に向かう意識が高まり、自主的に考えるようになったと思われる。今後も、生徒が納得できる進路決定をできるよう、支援していきたい。</p> <p>○地域や産業界と連携したキャリア教育により、生徒の職業観・勤労観の育成をすることができた。各種の講座を検討して、卒業までにより良い選択ができるようなプランの再検討が必要である。</p> <p>○それぞれの進路先に向けた準備など、進路決定後の学習面や日常生活などの継続指導が必要である。</p> <p>○2・3学期に行った進路ガイダンス等により、生徒一人ひとりの進路に関する意識を高めることができたと思われる。</p> <p>○インターンシップの組織的な取り組みとして、今後も体制を維持するために職員の理解と全職員の協力体制が不可欠である。</p> <p>○発表会をきちんと定着させるためにも、発表の形式等の検討を含め、グループがリーダーとなり、学校行事として位置づける。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○部活動について、盛り上がる活動をサポートして欲しい。</p> <p>○女子ができる部活動や同好会を増やしてほしい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○部活動の加入率を上げてほしい。</p> <p>○部活動は異年齢同士によるもので、加入率は42.6%とのこと。藤工祭と並んで、これも絆を高める活動のひとつですが、改善の方向として、“50%を目標に加入者を増やしたい”と願望だけに終わっている。未加入者の意見を聞くなり、部室や用具などの環境が良好なのか等同業他校の状況を、ぜひ勉強してほしい。</p> <p>○企業とのキャッチボールをしてほしい。</p> <p>○インターンシップについて、担当が代わった場合の対応がよくないので、申し送りをきちんとしてほしい。</p> <p>○インターンシップ参加者の人数増をめぐしてほしい。</p> <p>○課題研究発表会で野球部生徒が作ったものがとてもよかった。</p> <p>○3年生の課題研究発表会を拝見し、各グループが一生懸命、心から楽しそうに真剣に取り組んでいられるのをたのしく、実践に近づいていることを感じた。</p> <p>○学校目標の具現化に向け、教職員が一丸となり努力している様子がうかがえる。</p> <p>○課題研究発表会では、「ものづくり」の観点から、生徒がそれぞれ努力した成果がよく伝わってきた。特に、BSDカウンターの製作については、すぐに役立つという点で、すばらしかったと思う。</p> <p>○課題研究発表会は、とてもすばらしいものだった。メンバー同志の絆を深められたことは何よりの収穫で、良い思い出となる。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○部活動加入率は、42.6%であった。</p> <p>○藤工祭の出席状況がよく、有志活動も多くなった。</p> <p>○課題研究会では、外部講師を招聘できず生徒の取組みがあまりよくなかった。</p> <p>○1学年では、ガイダンスを実施し、進路理解を深めた。</p> <p>○進路未定者は、いない。就職者は、57.3%であった。 (改善方策等)</p> <p>○インターンシップを通して、企業とのつながりを強めたい。</p> <p>○運動部だけでなく、文化部についても部活動の活性化を図りたい。</p> <p>○球技大会等休まず参加させるなど学校行事への意欲的な参加を高める。</p>
---	--	--	---	---	---	---

<p>5 保護者や地域と連携した教育活動を通して、地域に開かれた学校づくりをめざす。</p>	<p>①積極的に社会参加する能力や態度を育成するため、家庭・地域と協働した教育を実践する。</p> <p>②生徒が主体的に学習姿勢を振り返られるように、小・中学校や地域との連携・交流事業を充実させる。</p> <p>③近隣の学校や地域との連携を深めるため、学校の特色を生かした地域貢献活動に全校で取組む。</p>	<p>①地域と交流する機会を通して生徒の社会性をはぐくむことができたか。</p> <p>②連携・交流事業において、生徒が主体的に活動できたか。</p> <p>③他者とのかかわりを大切にする心を育むことができたか。地域社会との交流活動をおして、社会貢献や奉仕の姿勢を養うことができたか。</p>	<p>○体験教室への参加者数は130名（小学生61名、中学生26名、PTA43名）と昨年度の119名を上回った。講師役の生徒は53名参加し、94%の生徒が「参加してよかった」と答えた。</p> <p>○学校説明会は3回実施した。体育館改修のため、第2回目（11月）、第3回目（12月）実施は午前/午後の2部制で行った。参加者数はほぼ例年並みであった。</p> <p>○11/20に小学生との交流事業を行い、10講座設け、天神小学校6年生（93名）対象に実施した。地域との交流に関わった本校生徒は、ふじさわ産業フェスタ33名、わくわく体験53名、六陵祭12名、産業教育フェア35名、小学生との交流事業55名、イルミネーション湘南台15名（設置・撤去で+20名）、合計223名が参加した。</p> <p>○わくわく体験工作教室の小中学生のアンケートでは、総数76名中、楽しかった73名・まあまあ楽しかった3名だった。</p> <p>○アンケートの評価ではプラス評価が80%を超えた。「コミュニケーション能力の向上、学習意欲の向上につながったと思う」と答えた生徒も86%であった。</p> <p>○清掃活動に加えて他の取組みはできなかった。</p>	<p>○ものづくり体験教室への参加者数は増加したが、中学生の参加が減少した。実施時期・講座の内容等の見直し、検討が必要である。</p> <p>○イルミネーション湘南台をはじめ、地域に根差した社会参加・活動をしてきた。現在次年度に向けての準備をしているが、担当が決まらず難航しているところもある。</p> <p>○事業に参加した生徒に関しては、ほぼ目標が達成できた。しかし参加者数は全校の約1割にすぎず、今後は講座数や参加者数を増やす工夫が必要である。</p> <p>○課題は清掃活動に加えて他の活動について考える余地がある。</p>	<p>（保護者）</p> <p>○小・中学校や地域との交流を大切にし、子どもたちの成長をサポートして欲しい。</p> <p>（学校評議員）</p> <p>○地域との交流については積極的に関わっていただいていると思う。また、中学校にとっては間接的に工科高校のイメージが伝わることもなり、進路選択の一助になる。</p> <p>○六陵祭のブースは、発表内容も工夫され、丁寧な対応もあって大変人気があり、終了時間間際まで賑わっていた。</p>	<p>（学校評価）</p> <p>○体験学習に参加した生徒の意欲が高まった。90%以上が「参加してよかった」と回答した。</p> <p>（改善方策等）</p> <p>○地域には、もの作りを通して学校を紹介しながらつながりを持ちたい。</p>
--	--	--	---	--	---	--

<p>6 責任ある学校運営体制を組織的に確立し、家庭や地域から信頼される学校づくりをめざす。</p>	<p>①教員一人ひとりが自覚を持って、事故・不祥事の未然防止に努める。</p> <p>②防災訓練の内容を充実させるとともに、家庭との迅速かつ的確な連絡方法を整備する。</p> <p>③より一層、迅速かつ的確な情報発信を行う。学校目標とその取組内容について、適切に評価するために引き続き生徒及び保護者にアンケートを行う。</p>	<p>①全職員の事故・不祥事を防止できたか。</p> <p>②家庭との連絡体制が整備できたか。</p> <p>③的確な情報発信ができたか。具体的な手立てと評価の観点に基づき、課題を明らかにし、解決に向けて意欲的に取組むことができたか。</p>	<p>○成績処理原簿作成から始まる成績処理工程において、複数の点検システムが機能していたため組織的な事故防止につながった。</p> <p>○各グループが、事故・不祥事防止研修を企画し、研修を実施した。検証結果においては、プラス評価が多かった。1月に企業の危機管理について学ぶことができた。</p> <p>○メールシステム登録者数は877名で、昨年の650名から大きく増加した。お知らせメール発信回数はこれまでで年間39回で、昨年同期13回を上回った。災害時など緊急時の対応において活用した。</p> <p>○防災マニュアルを活用し、防災訓練を2回、現実に即した内容で実施できた。</p> <p>○ホームページは今年度、これまでに32回更新した。閲覧時のアクセスカウンターの導入を行った。</p> <p>○現在実施計画中である。ペーパーでの回収とアンケートフォームでの回収で目標を下回るが50%以上の回収を目指す。</p>	<p>○出欠席の処理についての資料訂正等が目立ったので、成績原簿作成時における点検を徹底し、職員の注意をさらに喚起していきたい。</p> <p>○不祥事ゼロをめざし、効果的な研修を確立するため、さらなる工夫が必要である。また、実施時期や内容を精査したい。</p> <p>○添付ファイルによる情報発信をする。</p> <p>○3年間継続して各学年で実施した体験的防災訓練の内容を見直し、安全指導の充実を図りたい。</p> <p>○スマホ対応のシステムについて検討していきたい。</p> <p>○保護者アンケート回収率を上げ、評価の増加をめざし、その評価を学校教育活動に生かす。仕組みを構築する。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○職員の不祥事については、保護者にも説明がなされた。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○不祥事については、未然に防ぐのは難しいが、記載した方が良い。</p> <p>○近隣とのつながりは、重要だと思う。</p> <p>○生徒の様子などを中学校へ情報提供をしてもらえるとありがたい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○各グループで不祥事防止研修の計画を立て、実施検証をした。</p> <p>○成績処理について、職員間のチェック体制を強化した。</p> <p>○教員の不祥事を未然に防ぐことができなかった。</p> <p>○教員の不祥事についての保護者説明会を実施した。</p> <p>○情報発信、ホームページの更新回数が増えた。</p> <p>○まち comi メール利用者が増えた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○不祥事防止のための研修を引き続き行う。</p> <p>○地域と連携した防災訓練を実施するなど地域と関わりを強めていきたい。</p>
--	---	---	--	--	---	--